

平成24年度
実施事業

事務事業名 **観光客誘客促進事業**

区分	No	名称
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる
施策	1	魅力ある観光地づくり
小分類	2	心と体を癒す観光のまちづくり
主要な施策	1	①広域連携による濃密な情報発信
事務事業番号	003	事業開始年度 昭和 45 年度 事業終了年度 平成 ー 年度 会計種別 一般会計

部 名	観光経済部	グループ名	観光振興グループ
-----	-------	-------	----------

事務事業の概要

《Plan・Do》

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	国内外からの観光客の誘客を促進し、市内経済の活性化を図ることを目的とする。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成24年度の実績を具体的に記入してください)
	<p>各種観光PRイベント等への参加や観光パンフレット・ポスターの作成・配布など、誘客に資する事業に取り組んだ。</p> <p>【平成24年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種行事等に対する特産品（記念品）の提供 ・各種団体主催PR事業への参加及び観光PRキャラクターの活用 ・観光パンフレット、散策マップ作成 ・新聞広告掲載 ・北海道観光振興機構への負担金 等
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	<p>登別温泉散策マップはこれまで日本語版のみであったが、外国人観光客への情報提供の充実を図るため、英語、中国語（簡体字・繁体字）韓国語版を作成する。</p> <p>また、積極的に各種団体と連携してイベントなどの観光PR事業等へ参加し、観光客の誘客促進を図る。</p>
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)

事業費（財源内訳）の推移

《Plan・Do》

区分		単位	H23年度 決算	H24年度 決算	H25年度 当初予算	H26年度 見込	H27年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円	6,857	3,858	6,755	6,755	6,755
事業費 合計			6,857	3,858	6,755	6,755	6,755

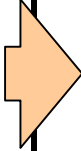
指標の推移

《Check》

区分		単位	区分	23年度 実績	24年度 実績	25年度 目標	26年度 目標	27年度 目標
成果 指標	① 観光客入込客数	千人	目標値	3,100	3,100	3,100	3,100	3,100
			実績値	2,661	2,845			
	② 宿泊客延べ数	千人	目標値	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200
			実績値	1,058	1,103			

比較 《 Check 》

<p>平成24年度実施以前又は実施中に見られた課題、問題点等</p> <p>平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震及び福島第一原子力発電所事故による風評被害により激減した観光客は、秋以降回復の兆しを見せていたが、竹島・尖閣諸島の領土問題により、韓国・中国などからの観光客が再度激減した。</p> <p>また、平成24年11月に発生した市内大規模停電が全国的にニュースで流れたことや平成25年1月には発砲事件が発生するなど、外的要因によるマイナスイメージが広がった。</p>	<p>左記の解決に向け行った取組や対策、工夫等</p> <p>これまで、入込の多い東アジア（韓国、中国、台湾等）に対応した観光パンフレットの作成に取り組んでいたが、領土問題などの各種情勢変化による観光客減少のリスク軽減に繋げるため、入込好調なタイ語の観光パンフレットの製作を行った。</p> <p>また、停電のマイナスイメージを回避するため、登別観光協会と連携し、道内（旭川・札幌・函館）及び道外（東京・大阪）での緊急プロモーションを行った。</p>
--	---



担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《 Check 》

1. 事務事業の妥当性について			
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	<input type="radio"/>	① 市が主体に行うべき事業である ② 民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である ③ 国、道、他団体等との連携や広域化が可能である ④ 国、道、民間等の事業と重複・類似している	判断理由及びその他所見 登別市の基幹産業である観光産業の振興を図るため、情報発信ツール製作や、登別観光協会をはじめとする観光関連団体が実施する活動に市が参加するための経費であり、当該事業は妥当である。
2. 事務事業の必要性について			
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	<input type="radio"/>	① 市民、団体等から具体的な要望がある ② 市民アンケートの結果から必要性が高い ③ 社会情勢、地域事情等から必要性が高い ④ 市民の大部分が関連することから必要性が高い	判断理由及びその他所見 観光産業は当市の基幹産業であり、経済波及効果が大きく、裾野が広いことから必要性が高い事業である。
3. 事務事業の効率性について			
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	<input type="radio"/>	① 低予算、少労力で高い効果をあげている ② 市で実施するほうが民間委託より効率性が高い ③ 多額の経費や労力を要するがやむを得ない ④ 将来的に効率性を向上できる	判断理由及びその他所見 国内外の観光客のニーズを的確に把握し、それに見合った事業を進めており、効率性が高いと考える。
4. 事務事業の成果について			
目的を達成するための成果はあがっていますか？	<input type="radio"/>	① 成果指標の向上が見られる ② 市民、団体等の声から成果を感じられる ③ 目に見える形で成果があがっている ④ 成果の把握は困難である	判断理由及びその他所見 東日本大震災の影響を受け減少した平成23年度の観光客数と比較すると、当年度は全道平均を上回る増加率を示しており、当該事業の効果があつたものと考えられる。

①担当グループによる評価 《 Check 》

維持	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)	国内外からの観光客の誘致促進を図るため、今後も継続して当該事業の実施が必要である。
----	----------------------	---

②行政評価会議による評価 《 Check 》

維持	備考	
----	----	--